

トヨタ車体、ダカールラリー2018で市販車部門5連覇を達成！

～たくさんのご声援ありがとうございました～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2018年1月6日から1月20日（現地時間）に南米大陸にて開催された『ダカールラリー2018 ペルー・ボリビア・アルゼンチン』に、ランドクルーザー200シリーズをベースとしたラリー仕様車2台で参戦し、ガソリンクラス・ディーゼルクラスを含めた市販車部門において337号車が優勝し、5連覇を成し遂げました。

ゼッケン	ドライバー	ナビゲーター	順位		
			ディーゼルクラス*1	市販車部門*2	総合
328号車	クリスチャン・ラウイイル	ジャン・ピエール・ギヤルサ	ステージ4にてリタイア		
337号車	三浦 昂(あきら)*3	ローラン・リットロイター	1位	1位	25位*4

*1:TLCは、市販車部門ディーゼルクラスにエントリー

*2:ガソリンクラスとディーゼルクラスを合わせたカテゴリ

*3:トヨタ車体社員(総務部広報室所属)

*4:日本時間1月21日 14:00時点



市販車部門優勝を果たした337号車



優勝した337号車の三浦ドライバー/ローランナビ

2018年大会に向けてTLCは、昨年大会で市販車部門1-2フィニッシュによる4連覇を達成したチーム体制を継続し、過去に勝利経験がないペルーでの優勝を勝ち取るため、砂丘ステージでの走破性向上を重点にラリー車づくりを進めてきました。モロッコでのテストに加え、シルクウェイラリー2017、モロッコラリー2017の2度にわたる実戦テストを重ね、マイナーチェンジを迎えたランドクルーザー200シリーズをベースとする新型ラリー車のパフォーマンスの向上を図りました。

リマ（ペルー）をスタートし、難易度の高い砂丘越えなども手堅くクリアしたTLCの2台は、序盤から市販車部門1、2位を維持し、順調な滑り出しとなりました。しかし、40周年の記念大会である今年のコースはこれまでになく厳しく、順調に走行していた1号車がステージ4の終盤、冷却系のトラブルに見舞われ、やむなくリタイアとなりました。2号車も同日、トラブルに見舞われ、1時間以上のタイムロスを経験したものの、なんとか復帰し、1号車にかわり首位に立ちました。

難易度高い砂丘や標高の高い山岳コース、寒暖差の中、途中体調不良になりながらも、2号車は、集中力を切らさず冷静に走行し続け、例年以上に難易度が高いコースで完走率約55%という厳しい戦いの中、最後まで首位を維持。メカニック陣も時には夜を徹して入念に点検、整備、修理をするなど、TLCは、チーム全員が心ひとつに、5連覇を達成することができました。

トヨタ車体は、世界一過酷と言われる「ダカールラリー」に挑戦し続けることで、そこで得られたノウハウや育った人材を「もっといいクルマづくり」に活かすとともに、ランドクルーザーファンやラリーファンを拡大し、世界中のお客様に笑顔と感動をお届けしてまいります。

【今大会の概要】

南米にステージを移して10年目となる今年は、大会創設40周年の記念大会であり、5年ぶりにペルーが開催国に復活。序盤戦は美しく、過酷なダカールラリーの象徴でもある砂丘部を抜けるルートが用意され、アフリカ大陸を舞台としていた時代を想起させるアドベンチャー要素が強く、またナビゲーション難易度の高いコースが続きました。

ボリビアへ渡り、クルマにも人にも厳しい標高約4,000m付近の高地でのレースとなりました。路面は殆どが堅い土か岩場で、雨の影響で泥沼が出来ているため、極めて滑りやすいところがあるなど、気の抜けない行程が続きました。

後半戦の第7、第8ステージは、前回同様にメカニックのサポート、整備なしで走るマラソンステージでスタート。アルゼンチンのサルタ〜ベレンは、ダカールラリーにおいて初めてのコースとなり、アンデスの山麓部を舞台にした難易度の高いステージで、砂地の丘陵では、キャメルグラスが生い茂り、速度が乗らず走りにくい状況が長く続きました。

最大の難所であるフィアンバラ砂漠では、42度の暑さの中、激しいアップダウンにより車両にダメージを受けながらも、TLCは2位に大差をつけて首位を守り抜きました。

当初、総走行距離は約9,000 km。内競技区間は約4,330 kmが予定されていましたが、悪天候のため、途中、第9ステージがキャンセルとなり、今大会は総走行距離が約8,550 km、競技区間は約4,090 kmでした。

【NRJ部門で8年連続優勝】

NRJ部門(環境に配慮した代替エネルギーを使用したクルマの部門)においても、8年連続の優勝を果たしました。

当社は、植物性油から精製したBDFでの参戦に取り組むことで、循環型社会の仕組みが広がっていくことを期待し、2011年大会以降、今大会においても2台のラリーカーにBDFを100%使用しています。BDFの原料となる廃食油は、TLCのラリー活動に賛同いただいたスポンサー企業各社、ならびに小中高校をはじめとする近隣地域の皆さま、当社従業員などから提供を受けており、2016年大会からは株式会社デンソー(愛知県刈谷市)が取り組む微細藻類にCO2を吸収させて生産した藻油も原料としています。

開催年	2007(*5)	2008	2009	2010	2011	2012-2015	2016	2017	2018
参戦車両	ランドクルーザー-100		ランドクルーザー-200						
BDF使用台数 (使用台数/出場台数)	1/3台	大会 中止	1/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台	2/2台
BDF混合比率	20%	-	20%	20%	100%(*6)	100%	100%	100%	100%

*5：2007年大会は市販のBDFを使用

*6：2011年大会は一部区間のみを軽油で走行

【コメント】

◆トヨタ車体 取締役社長 増井 敬二

目標としてきた市販車部門5連覇を勝ち取ることができ、本当に嬉しく思います。

この15日間の戦いは、例年以上に厳しく、幾多の困難に立ち向かわなければならぬものでしたが、それを勝ち抜いたチームメンバー、そして、チームを支え続けてくださったスポンサー企業の皆さまをはじめとする多くのファンの皆さまの気持ちが一つとなり、生まれた結果であることを実感しており、感謝申し上げます。ありがとうございました。

私たちは世界中で愛されるランドクルーザーをお客さまの期待を超えるもっといいクルマにするために、このダカールラリーで学んだことをクルマづくりに活かし、チャレンジを続けて参りたいと思います。

◆チーム代表 杉浦 一成 (トヨタ車体 常務役員)

私自身、チーム代表に就任して初めての大会で、市販車部門5連覇することができ、大変うれしく思います。

今大会は、TLCがまだ勝利を経験していないペルーからのスタートであること、また新しい車両での参戦であり、例年以上にハラハラドキドキの連続でした。ステージ4での1号車のリタイヤは本当に残念でありませんが、2号車の1台体制になって、さらにチームは一丸となって、心をひとつに自信をもって戦いぬくことができました。これも、スポンサー、ファンの皆さまと力を合わせて進めてきたこの1年間の取り組みが、現場で戦うチームメンバーに勇気と元気を与え続けてくれたおかげです。応援し続けていただいた皆さまとこの喜びを分かち合えれば、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

◆**チーム監督 角谷 裕司 (トヨタ車体 総務部広報室所属社員)**

今回のダカールは近年の中でも難しく、厳しい戦いとなりました。そういった中で市販車部門5連覇を達成できたので喜びも大きいです。過酷な戦いの中で、1号車が戦線離脱し、2号車にも横転など幾多のトラブルが襲いかかりました。しかし、メカニック、スタッフ全員が連夜にわたる作業を通して2号車の選手らの戦いを支え続け、選手は何があっても毎日クルマをゴールに運びました。まさに全員で勝ち取った勝利です！ご声援いただいた皆さまに心より感謝します。ありがとうございました。

◆**337号車ドライバー 三浦 昂 (トヨタ車体 総務部広報室所属社員)**

厳しい戦いでチームメイトがラリーを離れることになったのは残念でしたが、ランドクルーザーという絆でチーム全員と、応援してくださっている皆さまの力がひとつになり、5連覇と念願の自身初優勝という夢を実現できました。これほどの喜びはありません。このラリーに関わっていただいた全ての方への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

◆**337号車ナビゲーター ローラン・リシトロイスター**

自分が知る中で最も過酷なダカールラリーが今回であったことは間違いありません。この大会でチームメイトのリタイアなど、途中不安もありましたが、アキラとの優勝を目指して準備した3年間と、チームメンバー、応援してくださっているファンの皆さまを信じて毎日走れました。ご声援ありがとうございました。

(参考1)参加台数と完走台数

	部門	クラス	参加台数	完走台数	完走率
4輪	市販車 <small>(量産車にロールバー・大容量燃料タンクなどの「安全に走る」ための装備を追加した車。主要部品の交換が禁止されている)</small>	ガソリン	0	—	—
		ディーゼル	8	2	25%
		小計	8	2	25%
	改造車		84	41	49%
	計		92	43	47%
	2輪		139	85	61%
	小型4輪バギー		11	6	55%
	クアッド(4輪バギー)		49	32	65%
	カミオン(トラック)		44	19	43%
	合計		335	185	55%

(参考2)過去の戦歴

開催年	1995-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
使用車両	ランドクルーザー 80(1995-1998) ランドクルーザー 100(1999-2004)	ランドクルーザー-100				ランドクルーザー-200									
成績	市販車部門ディーゼルクラス 優勝 7回	市販車部門 優勝		大会 中止	市販車部門 優勝		市販車部門 2位		市販車部門 優勝						
備考	アラコとして参戦	トヨタ車体として参戦													

6連覇

5連覇

以上

世界のくらしに、笑顔届けたい

